

人の世の祈り託せし星々を
見上ぐる夜空寒き冬来る

令和六年十二月二十六日

大中臣正比呂



北斗七星、オリオン座は冬の星座の定番だが、一番明るく輝く星は金星
だろう。湯布院の夜空は、標高700mの塚原高原まで来ると、さらに
輝きを増す。冬の塚原は寒い。村人は塚原高原を「湯布院の北海道」と
言う。夜空の星々を見ては、ある時は諦めを、ある時は決意を促す。
太古より、太陽と月と星々は季節を造り、人の世に知恵をもたらす。
北辰斜めにさすところ、海洋民族の精神と航海の道しるべである。